

建設部会研修旅行第4回「近畿はいま」の報告（速報）

4月17日午前8時50分に大阪駅の西側にある大和ハウス前に集合し、ハービスエント内のUR（都市再生機構）事務所に徒歩で向かった。URの事務所は地上13階にあり、大阪駅周辺の再開発計画ならびに現状工事状況を、建設部会の杉本副部長（UR関係の工事）、森田副部長（JR関係の工事）より説明を受けた。

次にバスで阪神高速道、中国自動車道、山陽自動車道、播磨自動車道を通り、播磨科学研究都市にあるスプリング8（兵庫県佐用町）に到着した。スプリング8では木村広報室長、広沢技官の案内で最先端の放射線施設を見学した。スプリング8とは光の速度の99.999999998%の速度が出せる装置で小数点以下9が8個並ぶことになづけられた施設のことである。アインシュタインの相対性理論では光より早い速度は無いので、如何にすごい施設であるかわかる。この施設を使って日本の最先端の研究が日夜行われている。



ハービスエントUR事務所内



スプリング8中央管理棟の屋上



スプリング8蓄積リング棟内

バスで播磨自動車道、山陽自動車道、阪神高速道を通り神戸市中央区にある人と未来防災センターにいった。人と未来防災センターでは越山研究主幹により人と未来防災センターの設立の経緯、役割、研究内容等の説明があり、その後館内を見学した。館内には阪神大震災の写真、資料等が展示してあり、ボランティアの人たちが説明してくださった。



人と防災未来センター入口

人と未来防災センター見学の後阪神高速道を通して、大阪難波宮跡に到着した。難波宮跡では高野先生(建設省奈良国道工事事務所所長、近畿・四国地建各計画部長など歴任の後、沖縄開発庁次長の後退官され、(株)建設技術研究所副社長など)がバスに乗車され、高野先生より難波宮の説明を聞きながら、バスの車中より見学した。難波の宮跡の北を通る阪神高速道路は難波宮からの景観が重視され、高架から平面道路に変更され、難波宮跡から大阪城の景観が保たれたとの講義をうけた。大阪難波宮跡を見学した後、本日の最終見学地である平城旧跡の朱雀門を訪れた。1日目の見学終了。

2日目はバスで現在の奈良と平城宮の道路の位置を確認と、奈良の歴史、皇室と地方豪族の関係等高野先生の講義を聞きながら、三輪山の大神神社に向かった。大神神社では拝殿より、ご神体の三輪山を見学し、展望台では藤原京を一望できる場所で、大和三山(畝傍山、耳成山、天香具山)を歌った万葉集、倭の豪族の勢力図等の講義をうけた。

その後箸墓伝説の講義を高野先生より受けながら現地で古墳を見学した。

昼食後の薬師寺の見学は、池田建設の石川所長より五重塔の構造、修復状況等の建設に関わる含蓄に富んだ説明を受けながら見学を行った。その後平城旧跡およびその資料館の見学を行った。



平城旧跡朱雀門前



三輪山大神神社鳥居前



箸墓古墳前



薬師寺金堂前

(文責 湯原 徹)